



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信( IFRS )( 連結 )

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社 スカラ  
 コード番号 4845 URL <http://scalagr.jp/>  
 代表者 ( 役職名 ) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 ( 役職名 ) 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

( 氏名 ) 柳野 憲克  
 ( 氏名 ) 呉 裕紀

TEL 03-6418-3960

( 百万円未満切捨て )

## 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績( 平成28年7月1日 ~ 平成29年3月31日 )

### (1) 連結経営成績( 累計 )

( %表示は、対前年同四半期増減率 )

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	8,057	290.6	3,800	591.8	3,798	555.4	3,470	778.1	3,146	696.1	3,487	939.7
28年6月期第3四半期	2,062	20.2	549	14.7	579	20.2	395	27.4	395	27.4	335	0.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	187.00	184.33
28年6月期第3四半期	28.26	

平成27年6月期第4四半期連結会計期間に行われた関連会社株式取得に係る取得原価配分の暫定的な会計処理が平成28年6月期第4四半期連結会計期間に、平成28年6月期第3四半期連結会計期間に行われた事業譲受に係る暫定的な会計処理が平成29年6月期第3四半期連結会計期間にそれぞれ確定したため、平成28年6月期第3四半期連結累計期間について、当該暫定的な会計処理の確定後の金額を記載しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第3四半期	15,068	7,902	5,958	39.5	353.86
28年6月期	9,631	3,910	3,910	40.6	232.41

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		7.00		7.00	14.00
29年6月期		9.00			
29年6月期( 予想 )				9.00	18.00

( 注 ) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の連結業績予想( 平成28年7月1日 ~ 平成29年6月30日 )

( %表示は、対前期増減率 )

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	293.5	4,100	564.6	4,100	242.8	3,570	329.7	3,180	282.7	188.74

( 注 ) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報( 3 ) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) ソフトブレーン株式会社、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	16,837,259 株	28年6月期	16,825,900 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	0 株	28年6月期	341 株
----------	-----	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	16,827,124 株	28年6月期3Q	13,985,639 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
要約四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 6
要約四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10
(要約四半期連結財務諸表注記) .....	P. 10
(セグメント情報) .....	P. 11
(重要な後発事象) .....	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当企業集団は、前連結会計年度より国際会計基準（IFRS）を適用しております。

また、国際会計基準（IFRS）に加えて、より実態を把握することができる指標（以下、Non-GAAP指標）を第1四半期連結累計期間より採用し、双方で連結経営成績を開示しております。

なお、第1四半期連結累計期間より、ソフトブレン(株)及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い報告セグメントを変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に読み替えた数値で比較しております。

(1) 経営成績に関する説明

当企業集団は、経営資源の効率化を進めるとともに、成長分野への人員増強やM&Aの活用による事業拡大等、企業価値の向上に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は8,057百万円（前年同期比290.6%増）となりました。営業利益は、ソフトブレン(株)を連結の範囲に含めたことによる段階取得に係る差益が2,633百万円発生したことに伴い3,800百万円（同591.8%増）となりました。

また、税引前四半期利益は3,798百万円（同555.4%増）、四半期利益は3,470百万円（同778.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,146百万円（同696.1%増）となりました。

(国際会計基準(IFRS) ベース)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成29年6月期 第3四半期	8,057	290.6	3,800	591.8	3,798	555.4	3,470	778.1	3,146	696.1
平成28年6月期 第3四半期	2,062	20.2	549	14.7	579	20.2	395	27.4	395	27.4

(Non-GAAP ベース)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成29年6月期 第3四半期	8,057	290.6	1,125	104.9	1,123	93.9	809	104.7	484	22.7
平成28年6月期 第3四半期	2,062	20.2	549	14.7	579	20.2	395	27.4	395	27.4

Non-GAAP指標は、国際会計基準(IFRS)から当企業集団が定める非経常的な項目やその他の調整項目を控除したものです。

Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当企業集団の恒常的な経営成績や将来見通しを理解する上で、有益な情報を提供できると判断しております。

なお、非経常的な項目とは、一定のルールに基づき将来見通し作成の観点から除外すべきと当企業集団が判断する一過性の利益や損失のことです。

Non-GAAP指標の開示に際しては、米国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission)が定める基準を参照しておりますが、同基準に完全に準拠しているものではありません。

当第3四半期連結累計期間のNon-GAAP指標においては、ソフトブレン(株)を連結の範囲に含めたことによる段階取得に係る差益2,633百万円を控除し、同社株式取得時に識別する無形資産の償却費41百万円（現時点における暫定額）を追加計上いたしました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、売上収益及びセグメント利益は国際会計基準（IFRS）に基づいて記載しております。

① SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業は、複数の企業に再利用可能なソフトウェアを基に、ニーズへの柔軟な対応により信頼性や技術力の向上をはかり、堅調な実績へと結び付けるストックビジネスモデルを採用することで、売上収益は累積的に増加しております。

当第3四半期連結累計期間においては、主力サービスのサイト内検索サービス『i-search』に加え、特にWebサイト上に掲載する「よくある質問」や社内情報の共有管理ツールとして利用されている『i-ask』や製品等のWebページの管理を簡易化するサービス『i-catalog』、コンタクトセンターへの入電を支援する『IVR』サービスの導入が進みました。

具体的には、『i-catalog』で作成した商品ページ毎に『i-ask』で作成したよくある質問を表示させるサービスが㈱J-オイルミルズに、『IVR』サービスにSMS（※1）及びWebシステムを連携させ、折り返し電話予約や住所変更・口座変更等を受付けるサービスが損害保険ジャパン日本興亜㈱及び大手生命保険会社に導入されました。

その他、IoT・ビッグデータ処理に関連するサービスとして、損害保険ジャパン日本興亜㈱にデジタル技術を活用したテレマティクスサービスで約20%の自動車事故削減を実現してきた『スマイリングロード』及び『ポータブルスマイリングロード』のノウハウを活かし、ドライブレコーダーを活用した新たな個人向けテレマティクスサービス『DRIVING！〜クルマのある暮らし〜』のシステム開発を受注いたしました。

しかしながら、顧客のニーズに柔軟に対応することにより実績や経験が蓄積され、今後活用できるメリットがある一方、案件が大型化・複雑化することで再利用が困難となり、月額売上のストック収益よりも一時的な売上収益が増加する傾向があります。

そのため、一時的な売上収益よりもストック収益をより充実させ、今後の更なる成長を図ることに引き続き注力しております。

具体的には、Webサイトにおいて企業とユーザのコミュニケーションを促進する新サービスとして、ユーザと企業のオペレータがWeb上で相談できるWebチャットシステム『i-livechat』及び、オペレータが不在もしくは対応中の場合でも、質問に対する適切な回答を示すバーチャルアシスタンスシステム『i-assist』の開発を最優先しており、実際に『i-livechat』は㈱ジェーシービーに導入されました。

その結果、一時的に売上収益が大きく見込まれる案件については、一部受注を見合わせざるを得ませんでした。

このようなことから、売上収益は2,108百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は314百万円（同42.7%減）となりました。

（※1）ショートメッセージサービスの略。スマートフォンや携帯電話同士で短いテキスト（文章）によるメッセージを送受信するサービス。

② eセールスマネージャー関連事業

当事業の主力製品であるCRM/SFAソフトウェア『eセールスマネージャーRemix』の販売が大型案件の獲得により増加いたしました。また、営業課題にフォーカスしたコンサルティング、スキルトレーニング等も需要は根強く、堅調に推移しました。

以上の結果、売上収益は2,943百万円、セグメント利益は634百万円となりました。

③ フィールドマーケティング事業

店頭調査等スポット案件については、フィールド活動一括受託、派遣事業等ストックビジネスは堅調に推移しました。

また、更なる成長に向けて、事業拠点の拡大や管理職や管理部門の人材を積極的に採用し、組織運営体制の強化を進めました。

以上の結果、売上収益は2,398百万円、セグメント利益は207百万円となりました。

④ その他

システム開発事業については引き続き既存顧客の深耕と新規顧客の獲得、プロジェクト管理の徹底に努めました。売上収益につきましては順調に推移しているものの、人件費の上昇に伴う原価率上昇の結果、売上収益は396百万円となりました。出版事業の売上収益は209百万円となりました。

以上の結果、売上収益は606百万円、セグメント利益は9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,436百万円増加し、15,068百万円となりました。その主な要因は、ソフトブレーン㈱を連結の範囲に含めた際に発生したのれん5,569百万円、㈱エイジアの株式を売却したことによる持分法で会計処理されている投資の減少2,800百万円及び営業債権及びその他の債権の増加1,677百万円等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,444百万円増加し、7,165百万円となりました。その主な要因は、社債及び借入金の増加1,995百万円及び営業債務及びその他の債務の減少471百万円等によるものであります。

(資本)

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ3,992百万円増加し、7,902百万円となりました。その主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加3,146百万円、非支配持分の増加1,944百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当期においては、当社事業の基盤であるストック収益を更に強化するため、新サービスとして顧客サポート部門で利用されるWebチャットシステム『i-livechat』及び、パーチャルアシスタンスシステム『i-assist』の開発に注力しております。

このことが、来期以降の継続的な売上収益及び利益率向上に大きく寄与するものと考えられることから、当期中においては最優先することとしました。

これら新サービス開発のための一時的な外注費増加等により、平成29年2月14日に公表しました連結業績予想を以下の通り修正いたします。

(国際会計基準(IFRS) ベース)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
平成29年6月期 (予想)	10,600	293.5	4,100	564.6	4,100	242.8	3,570	329.7	3,180	282.7	188.74
平成28年6月期 (実績)	2,693	20.4	616	14.0	1,196	116.2	830	129.6	830	129.6	56.68

(Non-GAAP ベース)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
平成29年6月期 (予想)	10,600	293.5	1,400	126.9	1,400	109.5	1,000	115.5	600	29.3	35.61
平成28年6月期 (実績)	2,693	-	616	-	668	-	464	-	464	-	31.66

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,060,414	5,150,861
営業債権及びその他の債権	369,732	2,047,034
棚卸資産	-	57,980
未収法人所得税等	-	90,411
その他の流動資産	40,311	171,122
流動資産合計	5,470,458	7,517,410
非流動資産		
有形固定資産	291,040	372,238
のれん	477,064	6,064,614
無形資産	25,129	387,384
持分法で会計処理されている投資	2,800,323	-
その他の長期金融資産	454,642	573,462
繰延税金資産	109,188	145,982
その他の非流動資産	3,530	7,107
非流動資産合計	4,160,920	7,550,789
資産合計	9,631,378	15,068,199
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,919,388	1,448,237
社債及び借入金	3,300,000	1,349,932
未払法人所得税等	372,368	37,086
その他の流動負債	92,596	329,855
流動負債合計	5,684,353	3,165,112
非流動負債		
社債及び借入金	-	3,945,643
その他の非流動負債	36,511	54,650
非流動負債合計	36,511	4,000,294
負債合計	5,720,864	7,165,406
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,570,806	1,573,783
資本剰余金	1,256,340	553,482
利益剰余金	1,077,098	3,807,510
自己株式	△102	-
その他の資本の構成要素	6,371	23,295
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,910,513	5,958,071
非支配持分	-	1,944,721
資本合計	3,910,513	7,902,793
負債及び資本合計	9,631,378	15,068,199

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上収益	2,062,949	8,057,166
売上原価	△885,426	△4,641,396
売上総利益	1,177,523	3,415,769
販売費及び一般管理費	△618,924	△2,245,582
その他の収益	4,496	2,636,208
その他の費用	△13,793	△6,351
営業利益	549,301	3,800,044
金融収益	11,065	13,344
金融費用	△2,952	△15,280
持分法による投資利益	22,133	-
税引前四半期利益	579,548	3,798,109
法人所得税費用	△184,281	△327,142
四半期利益	395,267	3,470,966
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	395,267	3,146,645
非支配持分	-	324,320
四半期利益	395,267	3,470,966
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.26	187.00
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	-	184.33

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期利益	395,267	3,470,966
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△61,580	16,555
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	1,746	-
その他の包括利益合計(税引後)	△59,833	16,555
四半期包括利益	335,433	3,487,522
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	335,433	3,163,651
非支配持分	-	323,870
四半期包括利益	335,433	3,487,522



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
平成27年7月1日残高	1,133,011	661,498	430,317	△297,694	67,329	1,994,460	1,994,460
四半期利益	-	-	395,267	-	-	395,267	395,267
その他の包括利益合計	-	-	-	-	△59,833	△59,833	△59,833
四半期包括利益	-	-	395,267	-	△59,833	335,433	335,433
新株の発行	350,797	350,797	-	-	-	701,595	701,595
自己株式の処分	-	157,704	-	297,591	-	455,296	455,296
配当金	-	-	△181,578	-	-	△181,578	△181,578
関連会社の支配継続子会社 に対する持分変動	-	△152	-	-	-	△152	△152
関連会社に対する所有者持 分の変動	-	6	-	-	-	6	6
所有者との取引額合計	350,797	508,356	△181,578	297,591	-	975,167	975,167
平成28年3月31日残高	1,483,808	1,169,854	644,006	△102	7,495	3,305,061	3,305,061

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計
平成28年7月1日残高	1,570,806	1,256,340	1,077,098	△102	6,371	3,910,513
四半期利益	-	-	3,146,645	-	-	3,146,645
その他の包括利益合計	-	-	-	-	17,005	17,005
四半期包括利益	-	-	3,146,645	-	17,005	3,163,651
企業結合による変動	-	-	-	-	-	-
株式報酬取引	-	-	-	-	-	-
配当金	-	-	△416,233	-	-	△416,233
自己株式の消却	-	△102	-	102	-	-
新株予約権の行使による 変動	2,977	2,977	-	-	△81	5,873
支配継続子会社に対する 持分変動	-	△706,302	-	-	-	△706,302
非支配持分の取得及び処分	-	569	-	-	-	569
所有者との取引額合計	2,977	△702,858	△416,233	102	△81	△1,116,093
平成29年3月31日残高	1,573,783	553,482	3,807,510	-	23,295	5,958,071

非支配持分 資本合計

平成28年7月1日残高	-	3,910,513
四半期利益	324,320	3,470,966
その他の包括利益合計	△450	16,555
四半期包括利益	323,870	3,487,522
企業結合による変動	1,762,804	1,762,804
株式報酬取引	11,053	11,053
配当金	-	△416,233
自己株式の消却	-	-
新株予約権の行使による 変動	-	5,873
支配継続子会社に対する 持分変動	△159,298	△865,600
非支配持分の取得及び処分	6,291	6,860
所有者との取引額合計	1,620,850	504,757
平成29年3月31日残高	1,944,721	7,902,793

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年7月1日 至平成28年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成29年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	579,548	3,798,109
段階取得に係る差益	-	△2,633,133
減価償却費及び償却費	29,656	189,381
金融収益	△11,065	△13,344
金融費用	2,952	15,280
持分法による投資損益（△は益）	△22,133	-
営業債権及びその他の債権の増減額 （△は増加）	△121,954	△425,581
営業債務及びその他の債務の増減額 （△は減少）	△90,820	242,475
その他	53,744	△141,655
小計	419,928	1,031,531
利息及び配当金の受取額	2,197	3,396
利息の支払額	△2,627	△11,260
法人所得税等の支払額	△174,406	△802,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,090	220,975
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△126,887	△37,385
無形資産の取得による支出	△3,340	△172,163
投資の取得による支出	△30,000	△1,263
子会社の取得による支出	△71,870	△450,473
関連会社株式の取得による支出	△716,328	-
事業の譲受けによる支出	△140,000	-
その他	△3,107	△9,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,091,534	△670,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	347,192	△3,123,998
長期借入による収入	-	2,889,500
長期借入金の返済による支出	-	△185,334
社債発行による収入	-	2,088,149
リース債務の返済による支出	-	△2,600
新株の発行による収入	701,595	-
非支配持分株主からの子会社持分取得による 支出	-	△865,600
自己株式の処分による収入	461,181	-
新株予約権の行使による株式発行収入	-	5,873
配当金の支払額	△180,346	△266,014
その他	-	△1,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,329,622	538,133
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	483,179	88,546
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,505	5,060,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	1,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,913,673	5,150,861

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表注記)

1. 報告企業

株式会社スカラ（以下「当社」という。）は日本に所在する企業であります。

その登記されている本社の住所はホームページ（URL <http://scalagr.jp/>）で開示しております。

平成29年3月31日に終了する9ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社に対する当企業集団の持分により構成されています。

当企業集団は、『i-search』、『i-ask』等のサービスを中心に、企業と人のコミュニケーションを支援するサービスをSaaS/ASP型で提供している他、営業支援システム『eセールスマネージャー』の提供や小売店舗における店頭でのフィールド活動等のマーケティングサービス等の提供をしております。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。本要約四半期連結財務諸表は、連結会計年度の財務諸表で要求されるすべての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

本要約四半期連結財務諸表は、平成29年5月15日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定の基礎

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当企業集団の要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円単位で切り捨てて表示しております。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次平均実効税率を用いて算定しております。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されております。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されております。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

(セグメント情報)

5. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当企業集団の報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当企業集団は前連結会計年度まで「SaaS/ASP事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間にソフトブレーン(株)及びその子会社を連結の範囲に含めたことに伴い、「eセールスマネージャー関連事業」及び「フィールドマーケティング事業」を新たに報告セグメントといたしました。

「SaaS/ASP事業」は、『i-search』、『i-ask』等のサービスを中心に、企業と人のコミュニケーションを支援するサービスをSaaS/ASP型で提供しております。

「eセールスマネージャー関連事業」は、営業支援システム (CRM/SFA) のホスティング・オンプレミスサービス、クラウドサービス、カスタマイズ開発、営業コンサルティング、営業スキルトレーニング、iPad等を活用した業務コンサルティング及び教育事業を提供しております。

「フィールドマーケティング事業」は、フィールド活動業務、マーケットリサーチを提供しております。

なお、前第4四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社の取得価額配分及び事業譲受に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間について、当該確定により識別された無形資産の償却費等を反映しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	調整額	四半期損益 計算書 計上額 (注)
	SaaS/ASP 事業	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング 事業	合計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	2,062,949	-	-	2,062,949	-	-	2,062,949
セグメント間の内部 売上収益又は振替高 計	-	-	-	-	-	-	-
セグメント利益	549,301	-	-	549,301	-	-	549,301
金融収益							11,065
金融費用							△2,952
持分法による投資利益							22,133
税引前四半期利益							579,548

(注) セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書 計上額 (注) 3
	SaaS/ASP 事業	eセールスマネージャー 関連事業	フィールド マーケティング 事業	合計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	2,108,665	2,943,543	2,398,413	7,450,622	606,544	-	8,057,166
セグメント間の内部 売上収益又は振替高 計	-	25,031	7,331	32,363	45,902	△78,265	-
セグメント利益	314,907	634,473	207,384	1,156,765	9,933	212	1,166,911
段階取得に係る差益							2,633,133
金融収益							13,344
金融費用							△15,280
税引前四半期利益							3,798,109

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及び出版事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額212千円には、固定資産の調整額25千円及び棚卸資産の調整額188千円が含まれております。
3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の税引前四半期利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。